

# 一般質問

# 町政を問う

今回5名が質問し、  
その要約を掲載しました。

金長 秀範 議員 …………… 5

1. 小中学校の統合について
2. 通学費補助事業について

藤咲 芙美子 議員 …………… 6

1. 緊急時の診療について
2. 会計年度任用職員の待遇改善について
3. 後継者の見つからない家・田・畑について

加藤木 直 議員 …………… 7

1. 環境センター事業全般について
2. 開発公社全般について

阿久津 則男 議員 …………… 8

1. 県残土条例の改正について
2. 孤独死の状況・対策について
3. 選挙前に大地震が発生した場合について

猿田 正純 議員 …………… 9

1. 町の町政・財政について



☑次ページからの、顔写真下のQRコードをスマートフォンなどで読み込むと、一般質問時の動画が視聴できます。



🌻「町政を問う」の掲載記事は、質問者本人の寄稿によるものです。



かねなが ひでのり  
金長 秀範 議員

# 小中学校の統合について



こちらから  
動画が視聴できます

《教育長》転入政策が必要で、改善されない場合は検討しなければならない状況になる

城里町内学区別児童（乳幼児）数一覧表

現在日： 令和6年9月1日

地区	石塚小	常北小	桂小	沢山小	七会小	合計
(小6)	70	16	9	15	10	120
(小5)	58	20	14	9	3	104
(小4)	54	17	13	12	8	104
(小3)	60	13	9	13	3	98
(小2)	48	13	17	14	7	99
(小1)	51	17	15	10	8	101
(6歳)	48	11	9	6	6	80
(5歳)	39	13	11	9	8	80
(4歳)	45	12	16	5	7	85
(3歳)	40	14	12	7	7	80
(2歳)	31	8	6	3	7	55
(1歳)	24	15	6	4	3	52
(0歳)	11	6	3	1	0	21
	579	175	140	108	77	1,079

緑枠は、桂エリアの児童（乳幼児）数

赤枠は、2歳児以下の城里町全体の乳幼児数

町民・保護者アンケート（2024年11月）

【単位%】

	賛成	反対	どちらでもない
① 中学校2校を統廃合する	86	7	7
② 桂地区の小学校2校を統廃合する	97	2	1
③【学童施設】桂中の空きスペースを有効利用する	92	4	4

金長 9月1日現在の0歳児の人数は、城里町内全体で20人台。

数年前には、明らかに今までとは違った段階に入ると言わざるを得ない。独自ではあるが、130名にアンケートを行った。①中学校2校を統廃合する。②桂地区の小学校2校を統廃合する。③桂小に学童を建設せず桂中の空きスペースを有効利用する。この調査結果を受けて教育長の見解を問う。

教育長 最も危機感を覚えるのは桂小・沢山

小学区の児童数の減少。子育て世帯の転入政策が早急に必要で、改善されない場合は検討しなければならない状況になる。

金長 近い将来、確実に統廃合の議論に入る事が予想される。町で総合的に統合に関するアンケートを実施し、保護者並びに町民・地域住民の意向を確認して欲しい。

町長 桂地区3名の議員連名で要望があれば、地区の総意であると確認できるので、教育委員会とも打ち合わせをしてアンケートを実施する。

金長 皆様のご意見を聞くのは前提だが、子供達が極端に減少してからの統廃合は絶望感と、まだ余力はあるが先を見越しての前向きな統廃合は夢や希望に繋がり、老朽化した体育館など現状における様々な問題解決も図れるなら、私は迷わず後者を選びたい。

## 通学費補助事業について

《町長》保護者の負担軽減とバス路線の乗客数の維持に対する助成

金長 路線バスには補助がある。片方は路線バスが走っていて補助まで受けられる。片方は路線バスにも乗れない補助も受けられない。同じ町内在住で不公平に感じる。複数の保護者から見直して欲しいと切実な陳情を頂いた。①公共交通機関限定ではなく学校独自のスクールバス定期券の申請受付。②バス路線がない生徒への最寄りのバス停・最寄りの駅までのガソリン代定額補助。公平な判断での適用拡大解釈をお願いしたい。

町長 保護者の負担軽減とバス路線の乗客数の維持という2つの目的に対しての助成。ほかの交通手段については今後の検討課題としたい。

金長 もっと町民に寄り添って向き合って、選ばれる城里町・住みよい城里町になるよう切にお願いしたい。

# 緊急時の診療について



ふじさく ふみこ 議員  
藤咲 芙美子

## 《国保年金課長》小児は#8000、大人は#7119の電話相談窓口にかけるのも選択肢と考える



こちらから動画が視聴できます

**藤咲** 医療における住民の安心・安全は、町づくりの基本。お子さんや高齢者にとって欠かせないのは医療機関だ。多くの高齢者は夜間、緊急時に診てもらえない病院がないと不安を募らせている。この現状をどう考えるか。

**国保年金課長** 24時間受け入れ可能な体制の実現は現実的ではない。人材確保が必要だ。有床医療機関についても政策上、病院の新設は許可されない理由で夜間診療は難しい。

**藤咲** 夜間診療、有床診療も不可能という。救急車を利用するにも県の広報ひばりでは住民にブレイキをかけている。住民の命を守ることを真剣に考えてほしい。

**茨城県 子ども 救急電話相談** 15歳未満  
受診可能な医療機関もご案内します。

プッシュ回線の固定電話、携帯電話からは局番なしの  
**#8000**

その他の電話からは **050-5445-2856** ※令和3年10月1日から電話番号が変わりました。

24時間365日  
※相談無料  
※通話料は利用者負担

急な病気やケガで救急車を呼ぶか迷ったら…  
茨城県小児救急医療情報サイトの「子どもの緊急手引」もご覧ください。  
https://www.pedqq.pref.ibaraki.jp

**茨城県 おとな 救急電話相談** 15歳以上  
受診可能な医療機関もご案内します。

プッシュ回線の固定電話、携帯電話からは局番なしの  
**#7119**

その他の電話からは **050-5445-2856** ※令和3年10月1日から電話番号が変わりました。

24時間365日  
※相談無料  
※通話料は利用者負担

急な病気やケガで救急車を呼ぶか迷ったら…  
茨城県救急医療情報システムのホームページもご覧ください。  
https://www.qq.pref.ibaraki.jp

## 会計年度任用職員の待遇改善について

### 《総務課長》資格を有するものを対象に緩和していく

**国保年金課長** かかりつけ医を持ってもらうことと救急車を呼ぶか迷ったときは、小児は#8000、大人は#7119の電話相談窓口にかけるのも選択肢と考える。

**藤咲** 住民の命を守る対応策、救急電話相談の案内を全住民に届けていただきたい。

**藤咲** R6年度から会計年度任用職員の勤め手当が支給になったが、条例改正で期末手当が減額されたため、総支給額はR5年度に

比べ増えていない。総務省では「財政上の制約のみを理由に報酬や期末手当の抑制を図ることは改正法の趣旨に添わない」としている。条例の見直しをし、来年度予算に反映してほしい。

**総務課長** 会計年度任用職員は2.5か月に設定している。再任用職員より0.1か月上回っている。2.5か月を保持する。

**藤咲** 再度条例改正をし、期末手当をR5年度に戻し、そこに勤め手当の支給を提案する。

総務省は会計年度職員の「3年目の公募」を撤廃した。当町でも積極的に取り入れるよう提案する。

**総務課長** 資格を有するものを対象に緩和していく。

## 後継者の見つからない家・田・畑について

### 《まちづくり戦略課長》空き家バンク制度を設置している

**藤咲** 家・田・畑を持つ高齢者にとって、後継者がいないということに不安を持つ。相談窓口の設置を求める。

**まちづくり戦略課長** 空き家バンク制度を設置している。



かとうぎ ただし 議員  
加藤木 直

# 環境センター事業全般 について



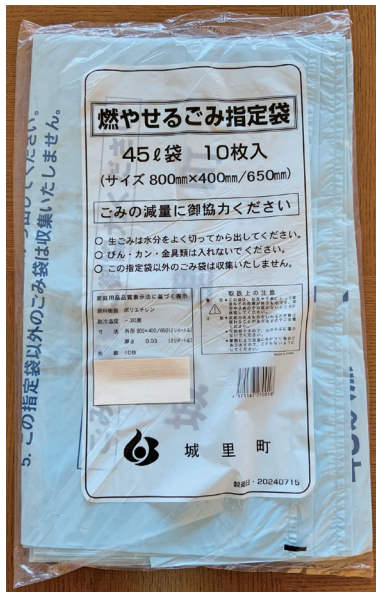
こちらから  
動画が視聴できます

## 《町長》コスト削減に心がけなければならぬ

**加藤木** 幾度と質問するが、現使用のごみ袋は破れやすい。弾力性のあるものにならないか。また、破れずらい袋は作業に適していないと聞くが、使う側の立場で考えてほしい。

**町長** 行政機関は、コスト削減に心がけなければならぬ。現使用のごみ袋は調達価格が安い。また、かくはん作業時に、破れやすく燃焼効率がよくなる利点がある。

**加藤木** 袋の価格は、一枚当たりわずか数十銭の差だ。燃焼効率は他の処理場でも問題なく行っている。言い訳だ。使用する町民の立場になって考えるべきだ。



**加藤木** 私は、町民が日々困っていることをお願いしている。私や桜井議員がお願いすることはやらぬと言っている方がいるが、もしそうなら町民に申し訳ないと思う。本当か。

**町長** 加藤木議員や桜井議員が言ったからやらないなどとその様な答弁をしたことはない。全くの誤解だ。

**町長** 私もその様な事はないと思う。我々ではなく町民のほうをみて仕事をして頂きたい。

他市町と比べ少し高いが安くならないか。

**町長** ごみ袋代だけではなく処理料金も含むという考えだ。安くても高くてもよくない。したがって現在の値段になっているものと解している。

## 開発公社全般について

### 《町長》昨年同時期比 3,600万円の収支改善に成功した

**加藤木** 昨年度まで赤字続きの収支状況について、今期の途中経過を伺う。

**町長** ご心配をおかけした。心を鬼にし、中小企業診断士と相談し大幅な改善をし公社全体で昨年同時期比3,600万円の収支改善に成功した。

**加藤木** 良くなったからと安心せず一番の問題部分を解決すること不可欠だ。

町内では大きな組織だ。議会、民間から各1名の監査員がいるが、専門的知識を持った会計事務所などを入れてはどうか。

**町長** そういったことも今後検討したい。

**町長** 大勢の方が働いている。健全な経営をお願いする。公社によく労働局が来られているようだが、労働問題やコロナ助成金の問題があるのか。

**まちづくり戦略課長** 主な内容は、安全衛生管理についての改善指導である。

**加藤木** コロナ助成金の問題かと心配した。

**町長** 多少の誤差のようなミスはあるかもしれないが、大きな不正にはつながらないと考える。

# 県残土条例の改正について



あ く つ の り お 議員  
阿久津 則男



こちらから  
動画が視聴できます

## 《町民課長》 3,000㎡以下は町の許可に変更

**阿久津** 4月から改正されるが町条例はどのようなになるのか。

**町民課長** 三千平米超は、県。三千平米以下は町の許可に変更。

**阿久津** 条例の中で立入調査を行う時は、地主・業者に対し3日前までに通知を出すことになるが、前日に通知を出すことと変更出来ないか。

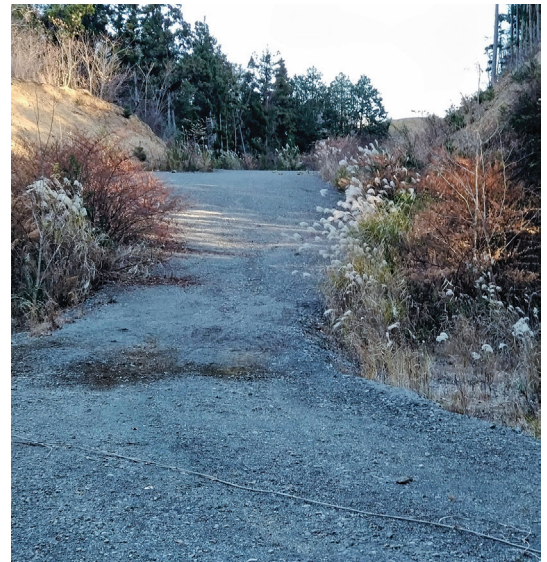
**町長** 法令上、改正が可能か確認出来れば考えたい。

**阿久津** 大網地区の不適正残土搬入で河川・井戸水の検査は行っているのか。

**町民課長** 28項目の検査をし、異常なしである。

**阿久津** ドローンで土砂流出等の調査を行っているのか。

**町民課長** ドローンによる空撮を行った。今後も定期的な調査を実施する。



不適正残土が搬入された山林 (R6. 12撮影)

## 孤独死の状況・対策について

### 《長寿応援課長》見守り協定を結んでいる事業者・警察と連携を密にし対応していく

**阿久津** 孤独死の状況・巡回・ボランティア等、更に対策について伺う。

**長寿応援課長** 町として孤独死の人数は把握していない。巡回については民生委員の協力で独り暮らし台帳を作成・見守り事業を実施。また、ケアマネージャ

ーが訪問し、安否を確認している。更に、ボランティアの協力により70歳以上の独り暮らし高齢者に訪問を行っている。

対策として、見守り協定を結んでいる事業者・警察と連携を密にし早期に対応していく。

## 選挙前に大地震が発生した場合について

### 《総務課長》大規模災害に対する規定がない

**阿久津** 町長・議員の選挙前に大地震が発生した場合、公職選挙法ではどのようなになっているのか。

**総務課長** 大規模災害に対する規定がない。

**阿久津** 議員の選挙の年は3月に暫定予算の臨時議会を開会しているが、2月に第1回の定例会として開会できないか。

**町長** 十分筋が通っているので検討したい。

**阿久津** 選挙の開票をコミセンの研修室で行なっているが、大地震を考えた場合、免振で建てた本庁舎で行うべきではないか。

**町長** 検討していきたい。

**町長** 孤独死対策のアプリサービスなど研究してみたい。



さるた 猿田 正純 議員

# 町の町政・財政について



こちらから  
動画が視聴できます

## 《町長》開かれた行政を目指していく

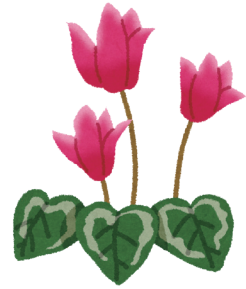
町民の安心・安全を守る

**猿田** 大規模自然災害対策はもちろんだが、昨今闇バイト等による押し込み強盗、傷害、殺人が起き、夜も安心して眠れなくなつた。幹線道路の防犯カメラの設置と併せ、各家庭が自宅に防犯カメラの設置時に、町からの補助金負担をして頂く事は出来ないのか伺う。

**町長** 貴重な提案なので、来年の予算編成に向け検討する。

**猿田** サテライト水戸より避難所として同建物の利用を提案されたが、町は断つたと聞かすが、理由を伺う。

**総務課長** 現在答弁するに至らないので、後程答える。



開かれた行政を望む

**猿田** 町長は開かれた行政を目指すと言つたが具体的には。

**町長** フェイスブックやX等を利用する。町の主要施策、予算、決算状況は広報紙やホームページで公開している。住民との対話も行う。

**猿田** 開発公社の決算報告書は、ホームページでR2年度迄しか掲載されず町民は閲覧できない。町は行政報告書で公開しているが分かりづらい。

**まちづくり戦略課長** 検索しやすい形に改めるようにしたい。

**猿田** 国民負担比率のR6年度予測を伺う。

**財務課長** R5の実績見込み46.1%の数値が示されている。

**猿田** 予測値は50.9%ともいわれる。22年度は48.4%。国民

負担比率とは国民全体の所得に占める、税金と社会保障費を足した国民の負担の割合のこと。このうち社会保障費は労使折半で9.5%、法人税6%合わせて15.5%差し引きして単純計算だが、年間所得の1/3を負担することになる。

し、合併した時から進めている。この事業は何のために、予算はどのお金で、そして毎年検証し、翌年に繋げている。資料はあるので見て欲しい。町長、ここまでやってみませんか。

